

令和4年9月定例記者会見要旨

開催日時 令和4年9月16日(金) 午前10時30分 302会議室

(市長) おはようございます。日頃から、諏訪湖記者クラブの皆様には、熱心に取材をいただきましてありがとうございます。引き続きよろしくお願いたします。お手元に資料を配布させていただきました。いよいよ今年度も半年が経過して、後半に入って参ります。ご承知のように、新型コロナウイルス第7波が少しずつ落ち着いてきたというような状況にありますが、まだまだ注意が必要な段階であります。また、第8波を小さく抑えられるように、二価ワクチンが手配されてきました。本市としても、皆さんに安心して接種いただけるような準備を進めているところであります。そうした状況をとらえながら、感染症に注意し、ウィズコロナや間近に迫ってくるのかなと感じられるアフターコロナに備えて、着々とこの年度の事業や、私の2期目最終年度のマニフェスト事業等をレビューしながら、仕上げに進めてまいりたいと思っています。

資料に沿って、ご説明したいと思います。諏訪市のガバメントクラウドファンディングを数々重ねて参りまして、今年度も、西山公園の桜や小丸山古墳の発掘に関するものなど、皆さんから温かいご協力をいただき、無事に終了予定となっております。ここで新たにスタートしますが、守屋山に快適で衛生的なトイレをということで、守屋山バイオトイレ整備プロジェクトのクラウドファンディングです。期間は9月28日から12月26日までです。守屋山山頂からの見晴らしを良くしまして、諏訪湖も八ヶ岳も展望できる大変眺めのいいスポットになったこともありまして、ここ1年くらいの間に、登山者が大変多くなってまいりました。大変ありがたいことで、守屋山山頂の山岳方位盤も、クラウドファンディングで設置をさせていただいた経緯がございます。途中の、山腹の水呑み場には、かねてから神宮寺森林組合さんや東屋会さん、地域の皆さんが、あずま屋を立てたり、間伐をしたりと、快適な空間を整えてくださったところですが、地元からの要望もありまして、ここに設置をすることにしております。約2,400万円の事業費に対しまして、約3分の1の800万円を目標とし、皆様から、ご協力ご支援をいただきたいということでスタートいたします。設置するトイレは環境にも配慮したバイオトイレということで、皆様にお使いいただけるように整えてまいりたいと思います。どうぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それから、秋の環境美化活動ですが、春と同様に、コロナの感染に対して注意が必要ということで、例年より縮小して実施します。春とほぼ同様のやり方で、皆さんに集まっていただく場面は作らず、自主的な活動を中心に実施します。また、住んでいる地区の周辺の清掃を各区にお任せをし、諏訪湖畔の清掃につきましては、諏訪湖畔一帯の下諏訪境からガラスの里まで、密集を避けて、団体ごとに、清掃を1時間ほどやっていただき、それぞれで解散とします。いつものように、ごみステーションを設置いたしますので、そこへ集めていただくというスタイルです。それから地区で主体的にやっていた地区清掃は、地区ごとのご判断に任せるというスタイルです。諏訪湖周辺の美化活動というのは、地域にとっても非常に大事なことでありまして、環境課も力を入れているところであります。当日の参加も受け付けておりますので、可能であれば、皆さんに三々五々集まっていただき、美化活動をお願いしたいと思います。

それから教育委員会からとなりますが、10月1日から11月27日に、「諏訪信仰と仏たち」という、諏訪市博物館の企画展を行います。かつて廃仏毀釈運動によって、難を逃れて地域一帯の寺院に納められている仏像を一斉に公開するというイベントを計画しております。この展示では、150年前に姿を消した諏訪社の神仏習合の様子や、信仰の様子、そうした終焉までの状況を、現在まで残された貴重な資料をもとに振り返る機会になります。また諏訪神仏

プロジェクトが計画している諏訪上社下社神宮寺由来の仏も一斉公開となります。下諏訪町の諏訪湖博物館・赤彦記念館でも同じように企画展を開催しますので、それぞれと連携をして、誘客も協力していくという形になります。ここでは、県宝である「諏訪社遊楽図屏風」を4年ぶりに公開をします。そして茅野市神長官守矢史料館から、県宝の「守矢満実書留」、それから神長本の「上社物忌令」もお借りして展示することになっております。江戸時代から、神仏習合で、諏訪大社上社下社とお寺、神宮寺というのは一体でありました。その後、廃仏毀釈運動で、神様と仏様が分かれたわけですが、その時代の経過を伝えるということで、今年の御柱年にふさわしく、面白い初めての企画になります。注目も集まっているようですので、ぜひご取材をいただけますように、ご案内を申し上げます。

その他になりますが、こここのところ連日、メディアの各社から質問が届いておりました元総理大臣安倍晋三さんの国葬に関する市の対応でございますが、私としましては、当日、国旗、市旗の半旗掲揚をしまして、弔意を表したいと思っております。先ほどの部長会議で、この方針を伝えました。諏訪市としても、行政として、協力の関係で、数多くの事業を一緒に進めさせていただいております国の国葬ですので、敬意を表して、弔意を表明したいと思っております。市民の中には、様々なご意見をお持ちの方がいらっしゃいますので、その対応については、自由であります。市民の皆さんの代表であります、正副議長に対しましては、この旨お伝えをいたしまして、ご同意をいただいているところであります。また教育委員会につきましては、教育長に対応を一任しておりますが、県教育委員会からの指示がない現段階においては、特段の対応を考慮していないというコメントが、教育長より先ほどございましたのでお伝えをいたします。

(10月の日程説明等)

○くらしいきいきエコフェスタ

10月2日(日) 午前9時00分 文化センター

○諏訪市職員辞令交付

10月3日(月) 午前8時45分 市長室

○第74回諏訪市スポーツ祭 開会式

10月8日(土) 午前8時00分 大会議室

○第40回ニムラ舞踊賞授賞式・祝賀会

10月11日(火) 午後3時00分 ラコ華乃井

○諏訪圏工業メッセ2022

10月13日(木)～15日(土) 午前9時00分 諏訪湖イベントひろば

○秋の環境美化活動

10月16日(日) 午前7時00分 湖畔公園

○初島御柱祭

10月22日(土) 終日 湖畔公園

○おとしよりの集い

10月27日(木) 午後1時30分 湯小路いきいき元気館

○諏訪広域介護フェスタ2022

10月29日(土) 午後1時00分 すわっチャオ

○教育委員会関係10月行事予定

記者との質疑応答

○受動喫煙防止条例について

- (記者) 委員会で可決されましたが、それに対する所感を教えてほしい。
- (市長) 副流煙については、吸った人以上に、体に対する影響が大きいということが明らかになっております。それを屋外においても、受動喫煙となる所をいかに減らして、皆さんの健康を守るかという、ここが主眼の条例になります。ですからタイトルに示したように、受動喫煙のない思いやりと健康のまちづくり条例ということになっておりまして、これには喫煙される方、また吸わない方もお互いに思いやりをもって、おいしい空気を吸う。その煙に惑わされず、存分においしい空気を吸えるというような心地よさを、市民に対しても、ここを訪れる方に対しても提供できるまち、或いはそこに住む市民でありたいということで、皆さんのご同意をいただきたいという内容の条例であります。事前審査というのがなかなか議会のルールとして難しかったので、十分な情報が議員の皆さんに伝わっていなかったということがあろうかと思いますが、上程をしましてからこの方、議員の皆さんには本当に熱心に、深い議論をしていただきました。市の担当部局も、一生懸命皆さんにわかっていただけに対応したというふうに見受けております。そうした結果、委員会においては、全会一致で承認をいただいたと伺いましたので、一つ一つ、そうした思いを、議員の皆様も真剣に取り組んでいただいたことと感謝をしているところです。これから本会議にかかるということですので、まだ確定ではありませんが、今回の議会においては、良い議論ができたのではないかと受けとめております。
- (記者) 附帯決議として、喫煙所の設置などを求めたいという話だったが、それについてはどのように考えているか。
- (市長) その報告を受けておりますが、この条例は、受動喫煙をどのようにしてなくしていくかということの条例であります。喫煙をする場所の設置につきましては、喫煙する方に対してどのような配慮をするかというポイントになりますので、この条例に附帯することと、また区別をしています。我々としても、今でもその喫煙所があった方がよい場合、それがどうしても必要であると判断があれば、それは今でも可能であります。しかし議員の皆様におかれては、この一方での喫煙者に対する思いやりという趣旨から、附帯決議で提案をされるのではないかとというふうに伺っておりますので、それは議会としての配慮だと受けとめています。まだ本会議にかかっておりませんし、また出されたわけではありませんので、そのような方向だと伺っているという段階でのコメントということにさせていただきます。

○新型コロナウイルスワクチン接種について

- (記者) 二価ワクチンの配備と、接種のめどについて、現段階でわかっていることがあったら教えてほしい。
- (市長) 本市としては、4万人くらいの対象者になると思います。ですから、最初にワクチンを打った時くらいの大きな規模の接種になってくるということです。また対象者の区分が幾つにも分かれます。なので、4回目を打った方は、5ヶ月以上の間隔を空けなければなりませんし、年齢の15歳から64歳までの方々の手配等、その準備を進めることと、集団接種会場につきましては、前は体育館としましたが、今回は諏訪赤十字病院さんに、集団接種を今までやっていただいたので、この流れの中でお願いできないかということをお話しさせていただいている段階です。また個別接種ということで、市内医療機関でも接種をしていただけるということになっております。ただし、ワクチンの扱いが違うので、安全をしっかりと確保するため、医師会とも今調整中でありまして、できれば10月から接種をスタートしたいということで、準備を進め

ているところです。日赤さんも、相当な負荷がかかっておりまして、今のままでは立ち行かないことがわかりますので、その支援の仕組みも全庁を挙げて協力体制をもう一度作るといようなことを部長会議でも通達しました。早急に、取り組みを進めているということになります。

○守屋山バイオトイレについて

(記者) トイレの男女別の便器数を教えてほしい。

(市長) 担当課から、後程資料を配布させていただきます。

(記者) ガバメントクラウドファンディングについて、最低いくらから寄付できるか。

(市長) ふるさと納税に対しての寄付は選んでいただけます。寄付額の最低があったかどうかちょっと確認させてください。

(記者) 諏訪市の返礼品は、全部で何点になるのか。

(市長) 地域戦略・男女共同参画課が扱っておりまして、今300くらいはあると思います。詳細については、後程またペーパーでお配りします。

○元総理大臣安倍晋三氏の国葬について

(記者) 弔旗、半旗の話があったが、職員の黙とうは予定されているのかどうか。

(市長) そこまでは考えておりません。それぞれ自由裁量の中で判断していただければと思います。

(記者) 市民の意見を踏まえて、今回の決断に至る経緯は。

(市長) 国も言っているように、それぞれ心情というのは自由でありますので、個々人の対応は、自由裁量で良いと思っています。市の行政体といたしましては、弔意を示すことが、私とすれば、心情にふさわしいと思いましたので、弔旗を掲げたいということがあります。

(記者) どういった点がふさわしいと思われたのか具体的にお聞きしたい。

(市長) 例え話がふさわしいかどうかわかりませんが、例えば民間企業であっても、いろんな事情があれど、大事な取引先の代表者がお亡くなりになったときに、社をあげて社葬として行うときに、弔問に行くことは通常の儀礼であると思います。そうしたことと同じように、国というのは、行政間で大変繋がりが深く、私たち諏訪市の事業を共同して推進している大切なお相手でありますから、国葬として葬儀をされるのであれば、弔旗を掲げて弔意を表するというのが私にとっては自然な対応だというふうに思います。ただ、それぞれ市町村で、様々なご事情がありますから、それはそれぞれ尊重すべきものと思います。諏訪市においては、このような対応をとりたいということでもありますので、よろしくお願ひします。

○諏訪湖の日について

(記者) 諏訪湖は貧酸素であったり、生態系の変化であったりいろいろな課題があると思うが、改めて市長としてはどのようにとらえているか。

(市長) 諏訪湖は、この諏訪市にとって宝物のような存在です。諏訪湖が一時汚染された時期がありましたが、みんなで綺麗な諏訪湖を取り戻そうというスローガンの下に、様々な取り組みがなされてきました。そして、徐々に諏訪湖の水質は改善され、透明度も増してきたという経過ではありますが、まだまだ課題はあります。ですから、私は諏訪湖再生の物語が、第5章までであるとすれば、まだ中盤の第3章あたりにあるだろうというふうにとらえております。ヒシの問題から始まって、それから漁獲高の問題など、

その諏訪湖が再生していく物語の途中に課題があります。これは諏訪市だけの問題ではなく、県が主にやっけていただいている諏訪湖創生ビジョンが、最終年度を迎えておりまして、次期のスタートに向けて調整中でありまして。これにつきましては、6市町村を始め、関係団体から様々な意見を集めて、調整している最中でありまして。そうした関係する皆様や湖を利用する方などと、多面的な諏訪湖の役割を、みんなと一緒にやって取り組んでいくことが、我々のこの地域に住む者の大切な役割であると思っています。

(副市長) ワクチンの関係で少しフォローのコメントを述べさせていただきます。先ほど市長が申しましたとおり、以前の集団接種は清水町体育館でやりましたが、現在は、諏訪赤十字病院で集団接種、それから市内の各医療機関で個別接種をやっています。今度のオミクロン株対応の二価ワクチンは、対象者が4万人近くおります。3回目と4回目と違って、また対象者が大変多いということになりますので、今、医師会と諏訪赤十字病院と担当部局で、協議が進行中でありまして。その協議がまとも次第、また改めてどこで集団接種を行うかということについて正式に発表しますので、現在はまだ検討中だということです。もしよろしければ、担当部局の方へ詳細取材をいただければと思います。

(総務部長) 先程ご質問があった件で、いくつか担当部局から情報が集まってきましたので、コメントさせていただきます。まずクラウドファンディングを行うバイオトイレの話ですが、小便器が2つ、大便器が3つで、いずれも洋式です。クラウドファンディングの最低金額は、一口2,000円からです。返礼品については、1万円以上の寄付に対しまして返礼品というものが発生するわけですが、お礼の品の数、種類は、先ほど市長が申しましたとおり、約300品目ということです。もしそれ以上の細かいご質問があるようでしたら、地域戦略・男女共同参画課の方へ確認をいただければと思います。